

メンズエステで誤射してしまった体 験談

とあるメンズエステに行った時の話。

受付を済ませて個室に入り、服を脱いで紙パンツ一枚になり、ベッドに仰向けになる。ドアが静かに開いて、女の子が入ってきた。20代半ばくらいの可愛い系の子だ。

「では始めますね。オイルを使ってほぐしていきますので、力を抜いていてくださ

い」「はい……お願いします」まず脚から。温かいオイルが太ももに垂らされ、両手でゆっくり揉みほぐされていく。指の腹が筋肉の間に沈み込み、丁寧に圧を加えてくる。気持ちいいのに、すぐに意識が下半身に集中し始めた。脚の内側を上がっていくにつれて、指先が紙パンツの端に何度も触れる。わざとじゃないのがわかる。それでもそのわずかな接触が、じわじわと熱を帯びてくる。

「少し内側もほぐしますね」太ももを内側に開き気味にされ、指が鼠径部の近くまで届く。紙パンツの布が少しずつ上がり、根元の毛がちらりと見えた。女の子の視

線がそこに落ちたのがわかった。すぐに視線を外して、淡々と手を動かし続ける。

「……失礼します」小さな声とともに、紙パンツの端を指先で少し持ち上げられた。オイルを塗るためだ。布が上がった瞬間、圧迫されていたおちんちんが浮き、硬くなりかけていて押さえつけられていたものが一瞬解放された感じがして気持ちよかった。